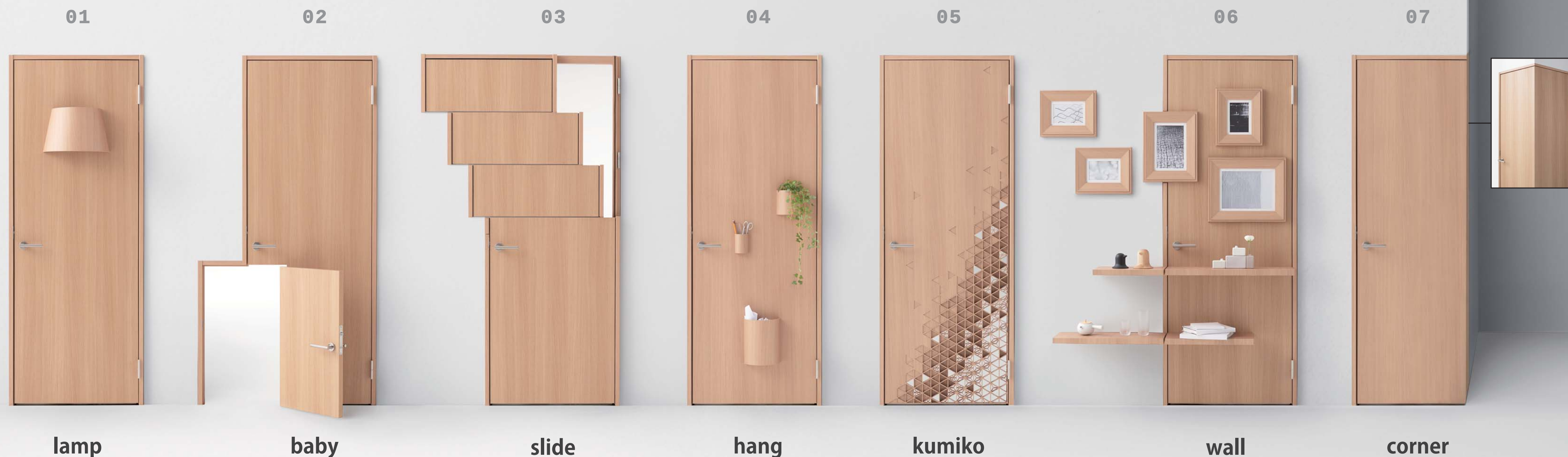


seven doors designed by n e n d o

創立 70 周年に合わせて nendo 社がデザインした未来に繋がる 7 つのドア。



lamp

玄関の電子錠に使用される配線の技術を使い、照明器具と一体化したドア。

baby

保育園や幼稚園の建具なども手掛けていることから着想した、大人と子供がそれぞれ自分のサイズに合ったドアから出入りすることができるドア。

slide

窓の前にかかるブラインドのように、少し隙間を開けて光を取り入れたり、風を通したり、隣の部屋との繋がりを生み出したりすることができる。このように、引き戸の技術をドアに応用することで新たな価値を生み出すことを考えた。

hang

2.5mm のマグネットシートを内部に仕込むことで、様々なアクセサリが貼り付けられるドア。トレイやゴミ箱、プランター、一輪挿し、コンテナなどを用意することで、単に人の出入りをするためだけのドアに「モノを収納する」という新たな機能を与えることができた。

kumiko

和室の建具に使用されてきた組子の技術を生かしたドア。組子がグラデーション状にプレーンなドアへと変化していく。職人の手仕事と、高い工業力を併せもつ当社ならではの表現となった。

wall

普段、壁に固定される「棚」や「額縁」といった要素がドアも覆うことで、ドアの存在感が薄れ、これまで以上に壁に馴染むこととなった。また、額縁は簡単に着脱が可能でありながらドアの開閉時に揺れないように、新たな接合部が開発された。

corner

部屋のカドから出入りできるようになることで、家具のレイアウトや間取りの考え方に変化が生まれることを目指したドア。結果的に、ドアが大きく開くことで車椅子での出入りが快適になるという副産物も生まれた。